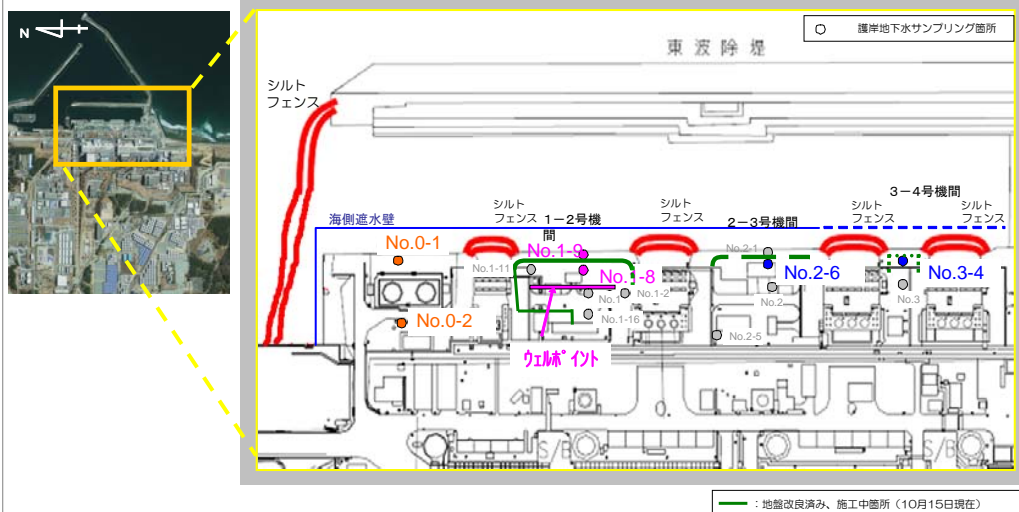


(1) 護岸エリアの汚染状況と対策の進捗

- 護岸付近の地下水観測孔や発電所港湾内の水の分析結果から、汚染水が海に流出していることが分かりました。
- 汚染水の現状を踏まえ「抜本対策」と「緊急対策」を併せて実施します。また、引き続きモニタリングを行い影響を確認し、公表いたします。

敷地内地下水のモニタリング状況



＜水質測定結果(抜粋)：括弧内は採取日＞
(単位：ベクレル/リットル NDは検出限界値未満)

No. 0-1
セシウム137:6.7(10/13)
全ベータ:180(10/13)
トリチウム:19,000(10/13)

No. 1-9(地盤改良部分よりも海側)
セシウム137:79(10/17)
全ベータ:300(10/17)
トリチウム:590(10/15)

No. 2-6
セシウム137:ND(10/17)
全ベータ:120(10/17)
トリチウム:1,100(10/13)

No. 0-2
セシウム137:1.6(10/13)
全ベータ:87(10/13)
トリチウム:ND(10/13)

No. 1-8
セシウム137:53(10/14)
全ベータ:2,500(10/14)
トリチウム:2,500(10/14)

No. 3-4
セシウム137:2.2(10/17)
全ベータ:ND(10/17)
トリチウム:ND(10/9)

ウェルポイントくみ上げ水
セシウム137:2.7(10/14)
全ベータ:250,000(10/14)
トリチウム:250,000(10/14)

【参考】法令告示濃度(単位:ベクレル/リットル)
・セシウム137:90 ・トリチウム:60,000



1-2号機間の地下水の値は、海側に行くに従って減少しており、**ウェルポイント・地盤改良等の対策効果が表れている**と考えます。

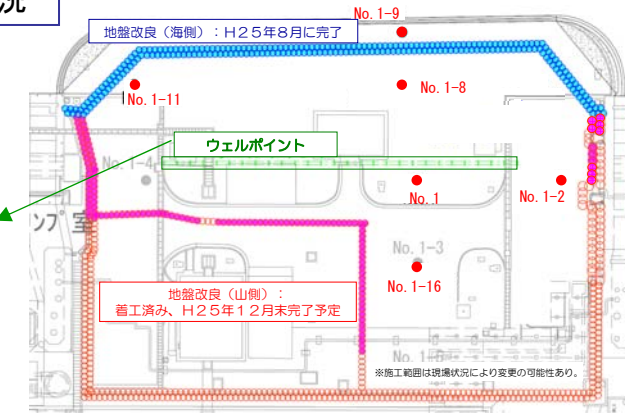
護岸エリア対策の進捗と効果

護岸エリア対策の進捗状況



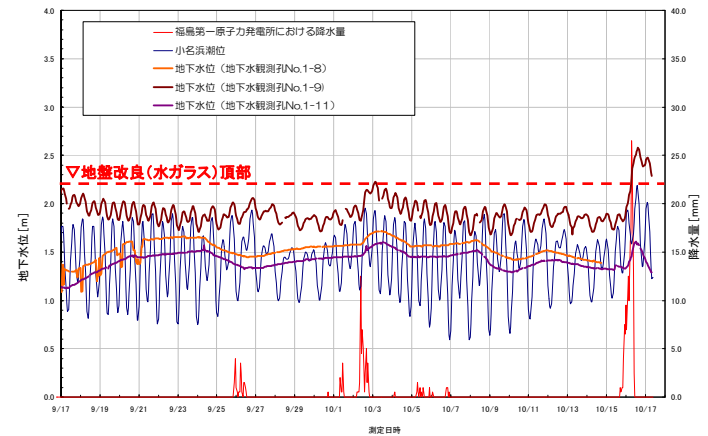
ウェルポイント(くみ上げ井戸)の敷設状況

1-2号機間の地盤改良(水ガラス注入)等の進捗状況



- ※2-3号機間については、海側・山側の地盤改良(水ガラス注入)に着手済み。(海側:11月上旬・山側:12月上旬完了予定)
- ※3-4号機間については、海側の地盤改良(水ガラス注入)に着手済み。(海側:11月中旬・山側:12月末完了予定)

地下水位と潮位の推移



ウェルポイントにおける地下水のくみ上げにより、地盤改良箇所より山側の地下水位は、**地盤改良(水ガラス)の頂部よりも低い値で推移**しています。
※台風18号・26号到来時も地下水位は地盤改良頂部を下回っています

(2) 海域モニタリングの状況

港湾内（シルトフェンス外側）・港湾境界付近・周辺海域の海水中濃度は、ほぼ検出限界値未満で影響は限定的です。また、前のご報告時と比べ、有意な変動は見られません。

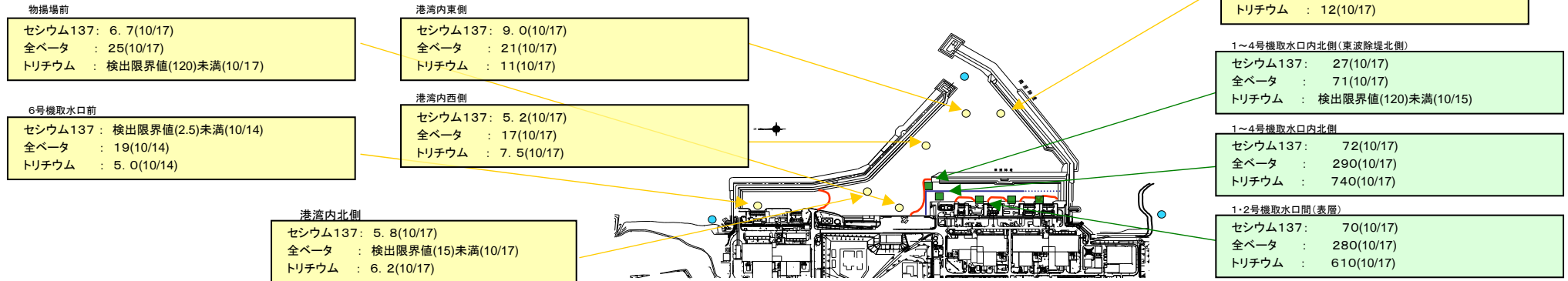
○港湾内における海域モニタリング地点

○分析項目および測定頻度

- ・トリチウム、セシウム、全ベータ：1回/週
- ・ストロンチウム：1回/月

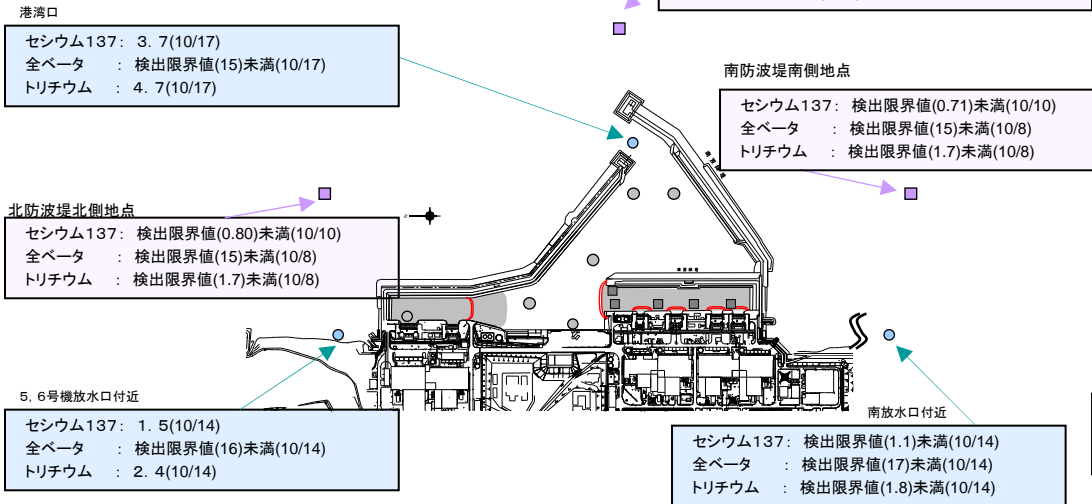
- 海洋への影響をモニタリング
- 港湾内の放射能濃度の分布をモニタリング
- 港湾内への影響をモニタリング(地点抜粋)

※()内日付は採取日
※単位：ベクレル/リットル



○港湾境界付近・港湾外近傍における海域モニタリング地点

- 海洋への影響をモニタリング
- 港湾外への影響をモニタリング



○周辺海域モニタリング地点

